

# もくじ

## まえがき

1	古典的波動としての光の性質	1
1.1	光とは何か	2
1.1.1	太陽からくる光	2
1.1.2	直進する光と曲がる光	5
1.1.3	回折と干渉	5
1.2	波の伝わり方	7
1.2.1	縦波と横波	7
1.2.2	進行波と波動方程式	8
1.2.3	定常波	10
1.3	電磁波とは何か	12
1.3.1	重力場と電場の対比	12
1.3.2	電場と磁場の対比	13
1.3.3	マクスウェルのひらめき	13
1.3.4	電磁波の発生	16
1.4	いろいろな電磁波	18
1.4.1	電波	19
1.4.2	マイクロ波	21
1.4.3	赤外線	22
1.4.4	可視光	22
1.4.5	紫外線	23
1.4.6	X線	24
1.4.7	$\gamma$ 線	25
1.5	電磁波の伝わり方	25
1.5.1	真空中を伝わる電磁波	25
1.5.2	媒質中を伝わる電磁波	28
1.5.3	静電場のもとでの誘電体	29
1.5.4	電磁波のもとでの誘電体	31
1.5.5	導波管の中の電磁波	33
2	ミクロな物質のもつ波の性質	37
2.1	シュレーディンガ一方程式	38
2.1.1	波動方程式からシュレーディンガ一方程式へ	38
2.1.2	シュレーディンガ一方程式の意味	43

2.2 箱の中の粒子 .....	45
2.2.1 シュレーディンガー方程式による解 45	/ 2.2.2 ドゥブロイの物質波による解 48
2.2.3 離散的エネルギー準位 48	
2.3 いろいろなポテンシャルの中での粒子 .....	52
2.3.1 有限の深さの箱 52	/ 2.3.2 ポテンシャルの角を丸める 52
2.3.3 底に傾斜のある井戸 55	/ 2.3.4 2極小ポテンシャル 56
2.4 自由な粒子の振る舞い .....	57
2.4.1 自由粒子 57	/ 2.4.2 障壁を通過する波 61
2.4.3 ポテンシャルの底に凹みのある場合 62	
2.5 原子の中の電子の波 .....	64
2.5.1 水素原子 64	/ 2.5.2 ポア模型の古典論による解釈 68
2.5.3 ドゥブロイの物質波による解釈 70	/ 2.5.4 波動関数の現代的な解釈 71
2.5.5 多電子原子 73	
2.6 分子のもつ波の性質 .....	74
2.6.1 水素分子 74	/ 2.6.2 分子の振動のエネルギー 78
2.6.3 分子の回転 79	
3 光と物質の相互作用 .....	81
3.1 光と物質の衝突 .....	82
3.1.1 物質にあたった波 82	/ 3.1.2 波の波長と物体の大きさ 82
3.1.3 光子 83	/ 3.1.4 $\gamma$ 線による電子対生成 85
3.1.5 コンプトン効果 86	/ 3.1.6 X線回折 88
3.1.7 光電効果 90	/ 3.1.8 EXAFS 92
3.2 光の散乱と屈折 .....	93
3.2.1 レイリー散乱とラマン散乱 93	/ 3.2.2 光の屈折 96
3.2.3 円偏光二色性 99	/ 3.2.4 カー効果とファラデー効果 101
3.3 光の吸収 .....	102
3.3.1 ランペール・ベールの法則 102	/ 3.3.2 積分強度 103
3.3.3 吸収スペクトル 103	

ペクトルと発光スペクトル	104	/ 3.3.4 アインシュタインの遷移確率	106	/					
3.3.5 場の量子化	109	/ 3.3.6 励起状態の寿命と線幅	110						
3.4 原子スペクトル		.....	111						
3.4.1 遷移モーメントと選択則	111	/ 3.4.2 水素原子のスペクトル	115	/					
3.4.3 アルカリ金属原子のスペクトル	116								
3.5 メーザーとレーザー		.....	118						
3.5.1 メーザーとレーザー	118	/ 3.5.2 メーザーやレーザーに使われる物質							
119	/ 3.5.3 レーザー光の特徴	121	/ 3.5.4 2光子遷移	121					
 4 分子のスペクトル		.....	123						
4.1 分子の電子スペクトル		.....	124						
4.1.1 分子スペクトルの特徴	124	/ 4.1.2 分子のエネルギー準位	124	/ 4.1.3					
ボルン・オッペンハイマー近似	126	/ 4.1.4 電子スペクトルの振動構造							
128	/ 4.1.5 フランク・コンドン原理	130	/ 4.1.6 三重項状態への励起	134	/				
4.1.7 蛍光とリン光	135	/ 4.1.8 発光と吸収の鏡像関係	138	/ 4.1.9 値電子					
近似と $\pi$ 電子近似	138								
4.2 ポリエンの電子スペクトル		.....	140						
4.2.1 ポリエンの $\pi$ 電子構造	140	/ 4.2.2 ポリエンの最長波長吸収帯	143	/					
4.2.3 結合交替のない共役系	145	/ 4.2.4 ポリエンとシアニン色素のスペクトルの振動構造	146	/ 4.2.5 光励起による二重結合の回転	148	/ 4.2.6 視覚のメカニズム	150		
4.3 光による化学反応		.....	153						
4.3.1 光異性化と光解離	153	/ 4.3.2 エネルギー移動と state-to-state chemistry	154	/ 4.3.3 電荷移動錯体	155	/ 4.3.4 エキシマー	158	/ 4.3.5 光イオン化と ESCA	159
4.4 分子の振動と回転のスペクトル		.....	161						
4.4.1 赤外線吸収とラマンスペクトル	161	/ 4.4.2 赤外線吸収スペクトルの							

選択則 161／4.4.3 交互禁制律 163／4.4.4 回転スペクトル 164／4.4.5 星間分子 165

## 付 錄

- 1 プランクの黒体放射の分布則 169／2 黒体放射の極大波長を求める 170／
- 3 マクスウェルの方程式 171／4 アインシュタインの吸収と放射の係数 173／
- 5 光の示す諸現象 175／6 略語一覧 176／7 いろいろな on 179／8 基礎物理定数 180／9 分子のエネルギーの換算表 180／10 年表 181

## 参考図書

## 索 引